

東上総教育事務所だより



伊藤左千夫の生家（山武市）



東上総のマーク



九十九里浜

〒297-0024 茂原市八千代2-10
千葉県教育庁東上総教育事務所
TEL 0475-23-8125 FAX 0475-25-3143
E-mail hkzs04@mz.pref.chiba.lg.jp
第5号

平成31年2月8日(金)発行



平成30年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

平成30年4月17日(火)に、全国の小学校及び特別支援学校小学部の第6学年の全児童、中学校及び特別支援学校中学部の第3学年の全生徒を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。

調査の内容は、国語と算数・数学と理科の「教科に関する調査」と児童生徒及び学校に対する「生活習慣や学習環境等に関する調査」でした。本県の教科区分別調査結果は、右のとおりです。(数値は公立学校の平均正答率【%】です。)

教科の傾向と課題(東上総管内)

小学校国語では「話すこと・聞くこと」の領域は前年度より上昇しており、「書くこと」の領域が前年度より低下しています。小学校算数では「数と計算」の領域は前年度より上昇しましたが、「量と測定」「図形」の領域が前年度より低下しています。小学校理科では、「観察、実験の技能」、「自然事象についての知識・理解」で、全国平均を上回りましたが、問題形式では「記述式」に課題が見られます。

中学校国語では「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は前年度より上昇していますが、目的や場に応じて伝えたい内容や考えを書いたり話したりすることに課題が見られます。中学校数学では「数学的な技能」の観点は前年度より上昇しましたが、「数と式」「図形」「関数」の領域は引き続き課題が見られます。中学校理科では、すべての分野、観点、問題形式で全国平均を下回っています。

来年度は、国語、算数・数学、英語が実施されます。

小学校	千葉県	全国
国語A	70	70.7
国語B	53	54.7
算数A	62	63.5
算数B	51	51.5
理科	61	60.3
中学校	千葉県	全国
国語A	76	76.1
国語B	61	61.2
数学A	64	66.1
数学B	46	46.9
理科	65	66.1

公立学校の平均正答率【%】

本県の課題

各教科区分に共通する課題

記述式の正答率が低い・無解答率が高い

教科・質問紙調査		今年度の課題
小学校	国語	◆書くこと◆短答式◆記述式
	算数	◆量と測定◆図形◆記述式
	理科	◆記述式
	児童質問紙	◆算数への関心等◆地域・社会への関心等◆学習習慣
	学校質問紙	◆個に応じた指導◆算数科の指導方法等 ◆学力向上に向けた取組・指導方法◆指導改善サイクルの確立
中学校	国語	◆記述式
	数学	◆数と式◆図形◆関数◆資料の活用◆記述式
	理科	◆化学的領域◆生物的領域◆短答式◆記述式
	生徒質問紙	◆数学への関心等◆理科への関心等◆地域・社会への関心等◆学習習慣
	学校質問紙	◆個に応じた指導◆数学科の指導方法◆家庭学習等 ◆学力向上に向けた取組・指導方法◆指導改善サイクルの確立

分析結果報告書(平成30年11月千葉県総合教育センター)より

調査結果の詳細な分析と活用を!

全国学力・学習状況調査の目的の1つには、学習指導の改善・充実を図ることがあります。そのためには、まず調査結果の分析を詳細に行うことが大切となります。分析については総合教育センターから配付されている3つの分析ツールを活用していただいていると思いますが、その1つの誤答分析ツールには、各設問の解答類型ごとの反応率が示されています。児童生徒はどのような問題に対してつまずきが見られるのか、そしてどのような間違い方をしているのかということをも十分に把握して、授業改善につなげてほしいと思います。分析の結果は、対象学年・教科だけでなく学校全体で共有し、指導改善サイクルの確立を図る取組が大切です。

また、7月に文部科学省・国立教育政策研究所より配付されている「平成30年度全国学力・学習状況調査報告書」には、児童生徒の学力・学習状況を総合的に分析・評価して、指導上の課題を分析し、改善のポイントが提示されていますので、ご活用ください。

東上総管内で実施された「公開研究会」

「確かな学びの早道『読書』

（学校図書館ガイドラインを踏まえた学校図書館の利活用に係る調査研究）事業研修会」

山武市立日向小学校・山武市立松尾中学校

山武市を推進地域とし、山武市立日向小学校、山武市立松尾中学校を協力校として指定し、さらに、実践協力校として大多喜町立大多喜小学校、いすみ市立国吉中学校をはじめ県下15校を指定して、学校図書館の利活用や読書活動の推進を図っています。

11月27日（火）に、日向小学校を会場に、授業公開、研究発表、講演会が行われました。2年生の授業では、テーマに沿って本等を展示した「おはなし美術館」の中で、音読や紙芝居等で学習の成果を生かしたグループ発表をしました。6年生は、図書室で、必要な本を参考にしながら、パソコンを使ってファンタジー作品の創作に取り組んでいました。どちらも山武市の図書館司書が専門的な知識を活かしてアドバイスをしながら学習が進められ、子供たちが生き生きと学習に取り組む姿が見られました。



山武市立日向小学校

提案発表では、山武市教育委員会、日向小学校、松尾中学校の研究発表があり、家庭も含めた日常の読書活動の充実に向けた様々な取組が紹介されました。講演会では、市川市立行徳小学校司書の高桑弥須子先生から、学習活動への図書の利用を中心に「学びの基礎を築く学校図書館」という演題での講話をいただきました。

この成果は、冊子にまとめられ、各学校に配付されますので、学校での活用をお願いします。

「平成30年度

特色ある道徳教育推進校（兼 心の教育推進キャンペーン実施校）における公開研究会」

九十九里町立九十九里中学校・長生村立八積小学校

千葉県では道徳教育の充実を図るため、幼（認定こども園）・小・中・高等学校・特別支援学校が連携した道徳教育の推進や県作成の道徳映像教材の活用を含めた授業研究を行い、その成果を発表し、事例の共有を図ることを目的に公開研究会を開催しています。一昨年度からは、保護者や地域の方々との連携を図ることを目的とした「心の教育推進キャンペーン」実施校を兼ねています。本年度は九十九里町立九十九里中学校、長生村立八積小学校で公開されました。

公開研究会では校種を問わず、たくさんの先生に参観していただくことができました。教材の中の問題場面に目を向け、「自分ならどうするか」という観点から道徳的価値を追究する授業や、役割演技等の疑似体験的な表現活動を取り入れながら、道徳的価値やそれを実現することのよさや難しさを考える授業等、各校の特色を生かした授業が実践されました。授業後の協議会においても活発な意見交換が行われました。

いよいよ来年度は中学校においても道徳が教科化され、小・中学校ともに新学習指導要領に基づいた学習が行われます。各校においては多様な指導方法を取り入れ、「考え、議論する道徳」への質的転換が図れるよう、お願いします。



九十九里町立九十九里中学校



長生村立八積小学校

「命の大切さを考える防災教育公開事業（学校安全総合支援事業）」

いすみ市立大原中学校

11月29日（木）いすみ市立大原中学校で、文部科学省委託事業・千葉県教育委員会指定「命の大切さを考える防災教育公開事業」が開催されました。

大原中学校では、地震・津波を想定した避難訓練（シェイクアウト訓練、市津波避難訓練）、防災活動や体験（防災集会、防災マップづくり、煙・起震車体験、防災グッズの作成、炊き出し訓練）、学級活動や総合的な学習の時間・道徳・各教科における防災に関する授業実践を通して、生徒一人一人の主体的な判断力・行動力の育成や自助・共助・公助の防災意識の向上を図ってきました。



いすみ市立大原中学校

公開当日は、「道徳」「学級活動」「技術・家庭科」の授業を展開し、災害時の避難の仕方について学習したり、地域や社会へ貢献する意識を高めたりしました。どの授業も「何ができるか」を真剣に学んでいる姿が見られました。

記念講演では、千葉科学大学の木村栄宏教授から、「津波防災について～命のリスクマネジメント～」という演題で、災害発生のメカニズムや津波災害の特性、津波への危機管理についての講話があり、改めて防災について考える機会となりました。